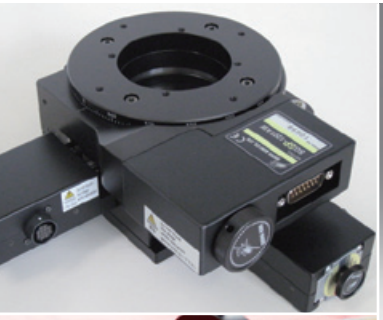
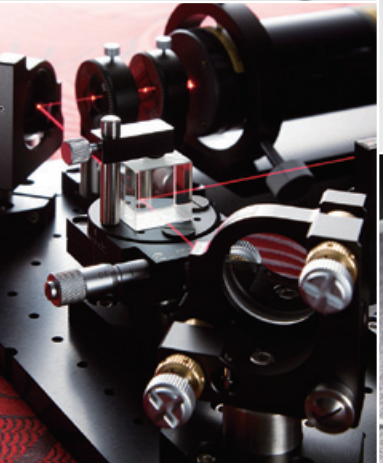
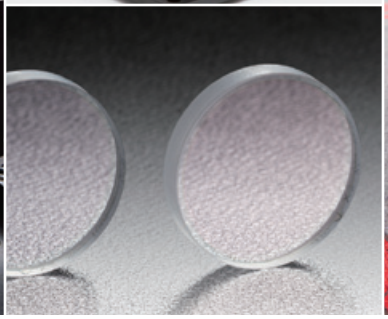
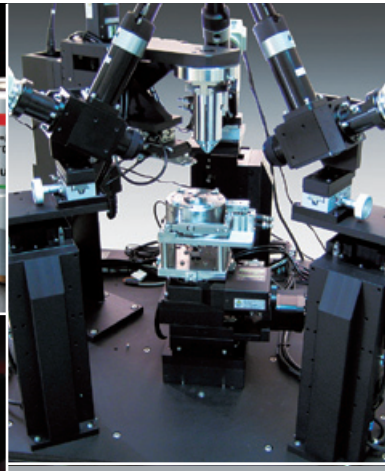
Light Solutions for Life®





第41期　中間報告書

2015年6月1日 ▶ 2015年11月30日

Contents

株主の皆様へ・当第2四半期の業績（連結）
当第2四半期のセグメント別概況・2016年5月期業績見通し
トピックス
株主様アンケート結果のご報告・社会貢献活動
連結財務諸表
株式の状況／会社概要

シグマ光機株式会社

証券コード：7713

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期累計期間の業績につきましては、売上高は前年同期比16.2％増の36億11百万円、営業利益は前年同期比133.2％増の3億41百万円となり、売上高、利益面の全項目において前年同期を上回りました。

主な要因といたしましては、国内及びアジア地域の産業分野の設備投資意欲の回復により、光学素子・薄膜製品、手動/自動位置決め製品等の他、高付加価値レンズユニットや光学システム製品等の需要が拡大いたしました。また、米国地域のバイオ・医療業界での組込み用光学素子製品や欧州地域の研究開発分野での高難度光学要素部品の需要拡大が寄与いたしました。

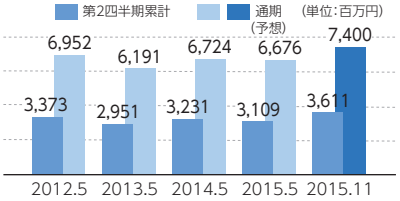
当社グループは、皆様の暮らしを光で支える「光ソリューション・カンパニー」として、グローバル市場でのプレゼンスを高め、持続的な成長と企業価値の向上、そして着実な株主還元で、皆様のご期待にお応えして参りたいと考えております。

株主の皆様には、今後とも何卒ご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

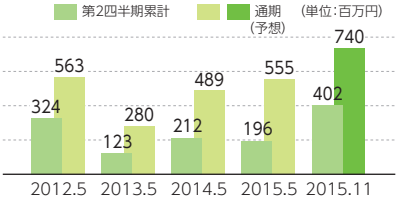
代表取締役社長
近藤 洋介

当第2四半期の業績（連結）

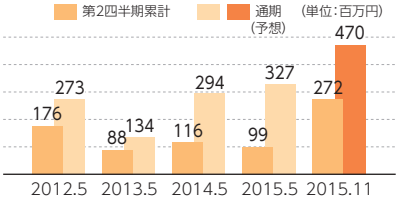
売上高 36億11百万円
（前年同期比 16.2％増）



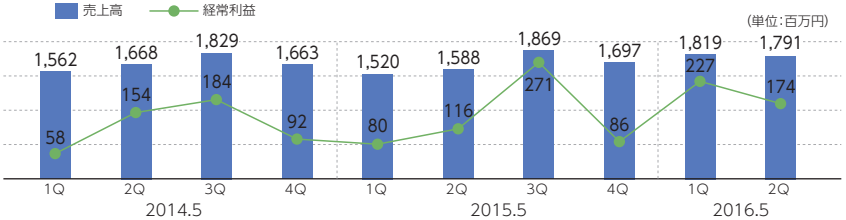
経常利益 4億2百万円
（前年同期比 104.5％増）



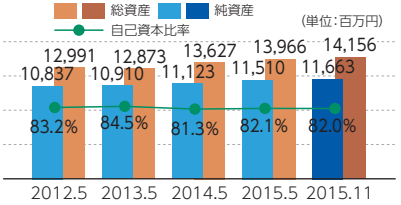
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益 2億72百万円
（前年同期比 172.9％増）



四半期業績の推移



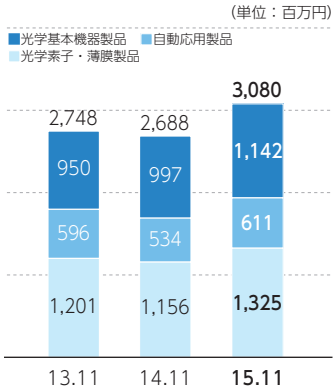
総資産・純資産 自己資本比率



当第2四半期のセグメント別概況

要素部品事業

売上高

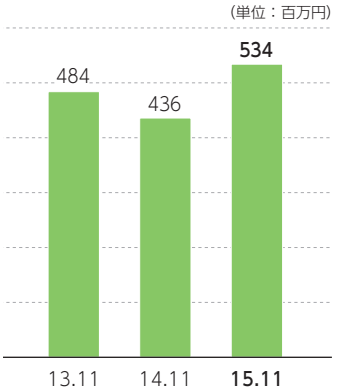


国内の大学・国立研究開発法人向け研究開発分野において、やや軟調に推移いたしました。

民間企業向け研究開発分野及び産業分野の検査・製造装置の組込み用においては、国内・アジア地域の携帯端末市場関連の半導体業界やモバイル用FPD業界向けのレーザ加工機・検査装置組込み用やアライメント用の手動/自動位置決め製品及び光学素子製品は堅調に推移いたしました。なお、米国地域を中心にバイオ業界、医療業界向けの組込み用の光学素子製品や、欧州地域の研究開発分野及び産業分野向けの光学基本機器製品及び光学素子製品については、売上高が堅調に推移いたしました。

システム製品事業

売上高



国内の大学・国立研究開発法人向け研究開発分野において、予算執行が徐々に進み、需要は堅調に推移いたしました。

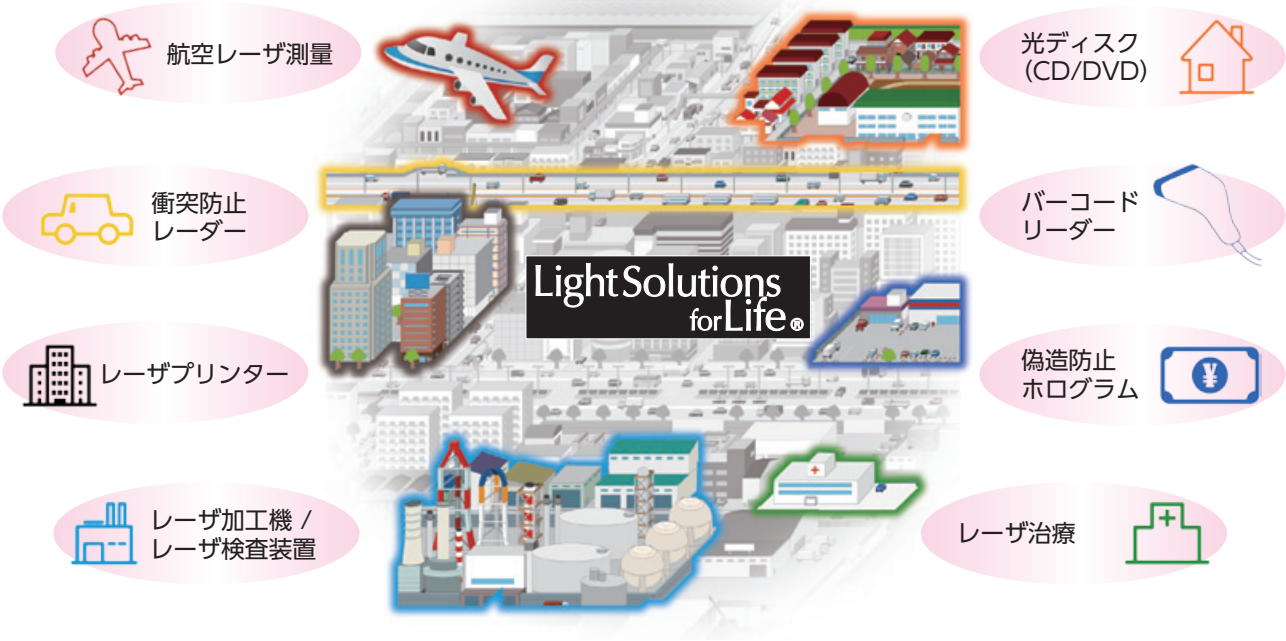
民間企業向け研究開発分野においては、産業分野における研究開発投資・新規設備投資について回復の動きが見られ、需要は堅調に推移いたしました。光学ユニット製品及び光学測定・分析装置製品、観察光学系システム製品の引き合いが増加傾向にあります。又、国内・アジア地域を中心に、携帯端末市場に関連する半導体業界向けやモバイル用FPD業界向けのレーザ加工機・検査装置組込み用のレンズユニット等の光学ユニット製品の需要は堅調に推移いたしました。

2016年5月期業績見通し

2016年5月期通期の連結業績予想につきましては、連結売上高が74億円、利益面につきましては、増収に伴う利益の増加に加え、原価率改善効果や海外関係会社の業績拡大に伴う連結利益の増加及び為替換算等により、営業利益6億60百万円、経常利益7億40百万円、親会社株主に帰属する当期純利益4億70百万円と、2015年7月9日に公表いたしました業績予想数値を2015年12月25日に修正いたしております。

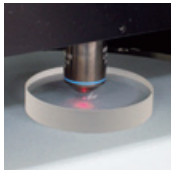
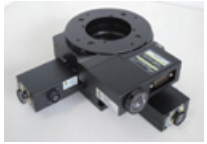
なお、普通株式一株当たりの中間配当は15円とさせていただきます。年間配当予想は、期末配当一株当たり15円（予定）と合計して一株当たり30円との予想を据え置かせていただいております。

あなたの身近でレーザ光を活用した技術が使われています。



日常生活の中では、「シグマ光機」製品をご覧いただく機会は少ないかもしれません。

普段は目に見えない。ですが、そこに「シグマ光機」はいます。皆様が普段お使いの実用製品が作られる前の段階の大学・公的機関や民間企業の研究室の実験環境の中に。実用製品が作られる工場の生産設備・検査設備の中に。様々な場所に「シグマ光機」製品は組み込まれています。
「光学技術」「機械加工技術」「制御技術」「システム化技術」。
当社の原点であるこれらのコア技術で、見えないところから、皆様の暮らしを支える光ソリューションを提供しています。
「Light Solutions for Life®」
シグマ光機のレーザ光技術が、皆様の暮らしを支えています。

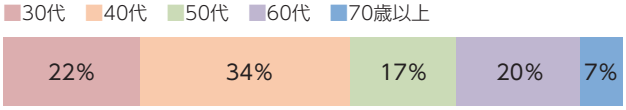



株主様アンケート結果のご報告

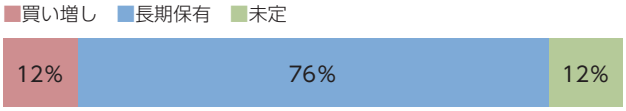
株主様アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

第40期報告書で実施させていただきましたアンケートにおきましてお寄せいただきましたご意見・ご要望等は、今後の会社経営及びIR活動に活かして参ります。

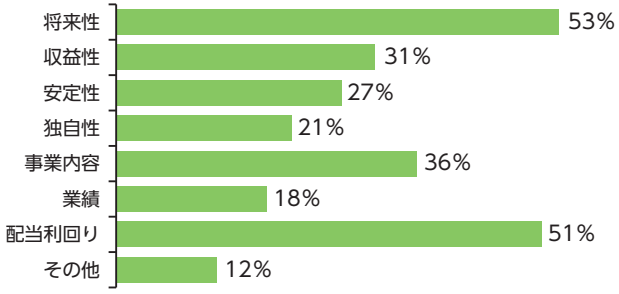
ご回答者様の年齢構成



今後の保有期間に対する方針



当社株式を購入された理由



70歳以上 男性

株主としては、会社の主要業務は分かっているので、当期業績に関する報告や今後の展望について、詳しく掲載して欲しい。

IR担当者

貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございます。
本事業報告は、株主の皆様や投資家の皆様に、当社の事業全般にわたって幅広くご理解いただくことを目的として、業績報告の他、事業・製品概要や社会貢献活動等を掲載させていただいております。今回頂戴したご意見を基に、より一層の内容の充実を図ってまいります。また、当社ホームページに掲載しております決算説明会資料等もご高覧いただけましたら幸甚に存じます。

40代 男性

レーザ等の光技術は社会・産業インフラでの活用が進んでいるが、今後の事業展開について分かりやすく教えて欲しい。

IR担当者

当社は、中核となる光学技術・機械加工技術・制御技術・システム化技術を活かし、情報通信、バイオ・医療・美容、航空・宇宙工学等、光技術の活用により高度化が進む先端産業分野に積極的に事業を展開しております。今後も、海外の民間産業分野や研究機関への販売体制・製品ラインアップをより一層強化し、納期・品質・価格におけるお客様満足度を第一とした事業展開を進め、収益性の向上に取り組んで参ります。

社会貢献活動

出張科学教室「光の寺子屋」

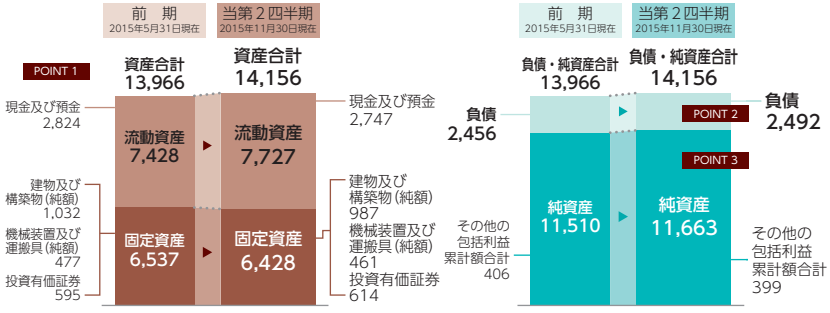
ものづくり社会を支える次世代人材育成活動

当社では次世代の科学分野を担う人材育成活動の一環として、2006年から10年以上にわたって、地域の小中学校において「出張科学教室」を開催しております。日常生活では意識することの少ないレーザですが、セロハンテープや模造紙という身近な素材と特殊なフィルムを使い実験を行うことで、光の特性や科学に興味を持つきっかけ作りのお手伝いをしています。当社では社会貢献活動の一環として、今後も継続的に取り組んで参ります。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表の概要

（単位：百万円）



POINT 1

資産の変動

流動資産は、有価証券、棚卸資産がそれぞれ増加し、現金及び預金が減少したこと等により、前期末比で4.0%増加いたしました。

固定資産は、投資有価証券が増加し、建物及び構築物、無形固定資産の「その他」、投資不動産がそれぞれ減少したこと等により、前期末比で1.7%減少いたしました。

POINT 2

負債の変動

流動負債は、未払法人税等が増加し、役員賞与引当金が減少したこと等により、前期末比で8.2%増加いたしました。

固定負債は、固定負債の「その他」、長期借入金がそれぞれ減少したこと等により、前期末比で9.1%減少いたしました。

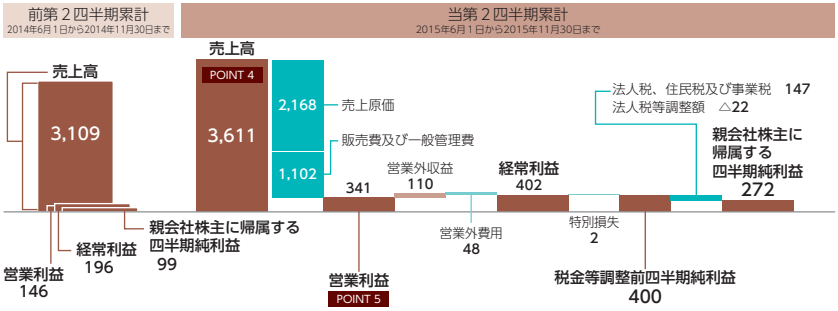
POINT 3

純資産の変動

純資産は、前期末比で1.3%増加いたしました。また、自己資本比率は82.0%となりました。

■ 連結損益計算書の概要

（単位：百万円）



POINT 4

売上高の動き

大学・国立研究開発法人等向けの研究開発分野においては軟調に推移するも、需要は増加傾向にあります。民間企業向け研究開発分野及び産業分野においては、国内・アジア地域での携帯端末市場に関連する半導体・FPD業界向けや米国市場のバイオ・医療業界向けの組込み用の光学要素部品や光学システム製品が堅調に推移し、前年同期比で16.2%の増収となりました。

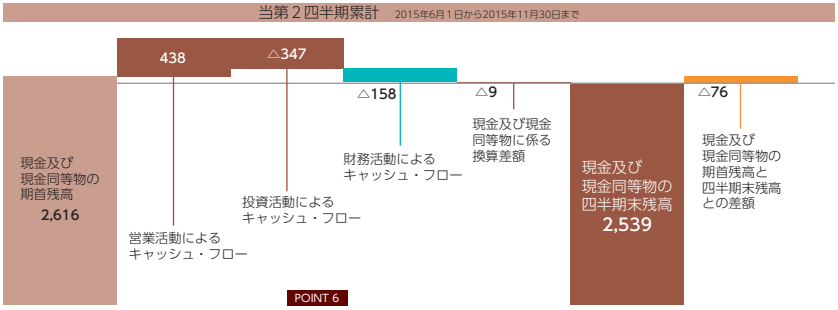
POINT 5

営業利益の動き

増収による売上原価、販売管理費の増加も、生産の効率化、内製化の促進、購買機能の強化等による生産コストの圧縮や全般的な経費削減の効果が表れ、増加率を抑制し、前年同期比で133.2%の増益となりました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

（単位：百万円）



POINT 6

キャッシュ・フローの状況

営業CFの資金獲得の主たる要因は、法人税の納付による減少等があるものの税金等調整前四半期純利益の獲得等によるものです。

投資CFの資金使用の主たる要因は、有価証券（短期の金銭信託）の取得等によるものです。

財務CFの資金使用の主たる要因は、借入金の返済による支出、配当金の支払いによる支出等によるものです。

株式の状況／会社概要

株式の状況（2015年11月30日現在）

①発行可能株式総数　32,000,000株

②発行済株式の総数　7,811,728株

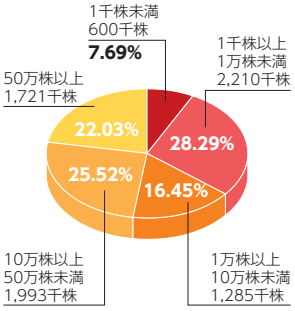
③株主数　3,867名（前期末比23名増）

④主要株主

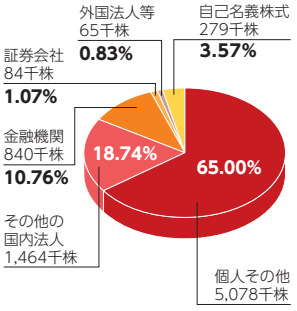
株　主　名	所有株数（千株）	持株比率（%）
浜松ホトニクス株式会社	1,000	13.27
森　聆二	721	9.57
シグマ光機取引先持株会	426	5.65
シグマ光機従業員持株会	244	3.24
株式会社埼玉りそな銀行	203	2.69
富国生命保険相互会社	200	2.65
株式会社サンライズクリエート	164	2.18
竹田本社株式会社	134	1.78
杉山大樹	131	1.74
株式会社三井住友銀行	110	1.46

（注）1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
3. 持株比率は、自己名義株式（279,372株）を控除して計算しております。

所有株数別株式分布状況



所有者別株式分布状況



（注）1. 所有株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
3. 自己名義株式（279,372株）を含んでおります。

会社概要（2015年11月30日現在）

社　名	シグマ光機株式会社
本　社	埼玉県日高市下高萩新田17番地2
設　立	1977年（昭和52年）4月
資本金	26億2,334万円
従業員数	333名
役　員	代表取締役会長　森　聆二 代表取締役社長　近藤洋介 取締役　菊池健夫 取締役　中村良二 取締役　大野昭夫 取締役　小林祐二 常勤監査役　山口秀一 監査役　大野隆久 監査役　野﨑昭司

（注）1. 大野昭夫氏及び小林祐二氏の2氏は社外取締役であります。
2. 社外取締役 大野昭夫氏は、独立役員であります。
3. 大野隆久氏及び野﨑昭司氏の2氏は社外監査役であります。

主な事業所

- 本社・日高工場
- 東京本社
- 大阪支店
- 九州営業所
- 能登工場
- 技術センター

関連会社

- OptoSigma Corporation
- OptoSigma Europe S.A.S.
- 上海西格瑪光机有限公司
- タックコート株式会社

当社の中間報告書は、「UDフォント」を採用しています

視認性、判読性に優れたユニバーサルデザイン（UD）書体を使用し、弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう配慮をしております。

文字使用例
（従来）S36 ▶ （今回）S36

株主メモ

事業年度	毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会	毎年8月開催
基準日	定時株主総会　毎年5月31日 期末配当金　毎年5月31日 中間配当を行う場合は、毎年11月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。
電子公告URL	http://www.sigma-koki.com/

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記の【特別口座について】をご確認ください。

株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部
（郵便物送付先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部

（電話照会先）フリーダイヤル 0120-782-031（通話料無料）
（インターネット ホームページURL）
http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、みずほ信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます。）を開設しております。左記株主名簿管理人とはご照会先及び住所変更等のお届出先が異なりますのでご留意ください。

〈特別口座に関するご照会先〉

（特別口座　口座管理機関）	みずほ信託銀行株式会社
（郵便物送付先）	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社　証券代行部
（電話照会先）	0120-288-324（通話料無料）

株主の皆様の声をお聞かせください

下記ＵＲＬにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、
アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、
アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を進呈させていただきます

http://www.e-kabunushi.com
アクセスコード 7713
いいかぶ　検索

空メールによりURL自動返信　kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。（タイトル、本文は無記入）アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます　QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

e-株主リサーチ

※本アンケートは、株式会社 a2media（エー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2mediaについての詳細　http://www.a2media.co.jp）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900（平日 10:00～17:30）MAIL:info@e-kabunushi.com

シグマ光機株式会社
東京本社　東京都墨田区緑1-19-9
TEL.03-5638-8221（総務部）

UD FONT　ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080　VEGETABLE OIL INK